

令和4年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<西濃地区> 揖斐川町立揖斐川中学校・揖斐川町立北和中学校・揖斐川町立谷汲中学校・岐阜県立揖斐高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標と重点

(1) 連携型中高一貫教育の目標

地域に根ざし、豊かな個性と主体性をもった人材の育成

【中学校】意欲的に学習に取り組む 仲間と協力し、助け合う 地域に誇りをもち、貢献する

【高等学校】自ら学び、学力を高める さまざまな人と協力し合う 地域での役割を担い、貢献する

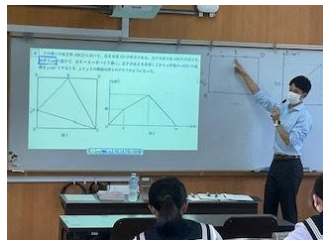
(2) 連携型中高一貫教育の令和4年度の重点

『地域の教育力の向上』を目指して

- ・ 中高連携の活動と指導の充実
- ・ 本事業の一層の理解を求めて、保護者・町民への広報活動を充実させる

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
確かな学力の育成	揖斐Basic	<p>○朝の学習等に教科の基礎的基本的な学習を位置付けて計画的・継続的に取り組むことで、学習習慣を身に付け、主体的に学ぶ姿が増えてきている。</p> <p>○6月と10月の2回に分けて学習面談を実施した。中学生が高校の教師から時期に応じた助言を受けることにより、進路実現のための意識付けができた。</p> <p>○学習面談に緊張感をもって臨むことができており、中学生にとって入試での面接や就職を想定した良い経験となっている。</p> <p>▲揖斐Basicの学習内容について、個に応じた学びや深い学びになるように、デジタル教材も視野に入れ様々な教材を検討していく。</p>
	サマースクールの開講	<p>○新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で、サマースクールを開催することができた。</p> <p>○教科の学習の仕方についてのアドバイスや、高校での学習内容を含めた講義がなされており、生徒の学びへの意欲が高まった。</p> <p>○揖斐高校への進学を希望している生徒は、入学後イメージしながら参加できた。それ以外の生徒にとっても学習への意欲付けができ、進路実現につながる有意義な体験になった。</p> <p>○授業の中で入試に向けた練習問題の実施や解説等を行うことで、中学生の学習に対する関心が高まり、自己の学びを具体的に見直す機会になった。</p> <p>▲事前の打ち合わせ会、当日ともに、引率や教科部代表の教諭以外の中学校職員も積極的に参加ができるように、日程や中高間の行事の調整について検討する。</p>
	中高交流	<p>○中高教師での授業検討、学習面談での情報交流を通して、中高の指導について相互理解を図ることができた。</p> <p>○毎週、中学校の教員が高校へ、高校の教員が中学校へ授業の指導に入ることで、生徒の実態把握と授業の進め方について互いに知ることができた。</p> <p>▲教科研究会の日程を中高相互に連絡・調整し、中高の教員で教科指導についても、さらに学び合う機会を増やしていくとよい。</p> <p>▲中高それぞれの教師が、授業のサポートだけではなく、それぞれの立場を活かした話をする機会や、教科の専門性を活かした授業を行う機会を作っていくとよい。</p>



【サマースクールの様子】



【中高教師による授業検討】

学びに向かう力の育成	中高連携行事の実施	<p>○揖斐高生による中学校での出前授業は、高校生が指導する内容はもとより、礼儀や作法についても中学生が多くを学ぶことができる内容になっている。揖斐高生にとっても、自らの学びや成長を確かめる機会になっている。</p> <p>○揖斐高校の3年生徒を中学校へ招いて、中学2年生へ進学、就職について話をしてもらう卒業生講話は、高校卒業後を含めた進路指導につながり、大変有意義なものになった。</p>
	体験学習や学習成果発表会への参加	<p>○中学2年生が高校での体験学習に参加し、高校の雰囲気や専門科の学習に触れることは、早い段階から進路について考え始めるよい機会となっている。</p> <p>○体験学習では、多様なコースから選択し、楽しく活動できている。一生懸命に説明する高校生の姿は中学生の良い目標となり、説明する高校生にとっては自分の取組を振り返り、自信をもつことにつながっている。</p> <p>○開講式、閉講式の中に中学生の発表を位置付けたことにより、生徒たちに目的意識を明確にもたせることができた。</p> <p>○体験学習や学習成果発表会の揖斐高生徒の姿が年々良くなっている。質が高く魅力ある発表会に対し、保護者や中学生、地域の期待が高まっている。</p>
地域に貢献する態度の育成	地域における中高生の活躍の場の位置付け	<p>○揖斐川町青少年育成大会では揖斐高校の生徒が司会進行をおこなった。また、生活デザイン科の生徒が、「地域と共に歩む保育コース」というテーマで発表を行い、好評を得た。青少年育成大会での発表は、ローカルテレビの放送を通して、揖斐高校の特色や揖斐高生の活躍や活動を多くの町民に知っていただくことにつながっている。</p> <p>○毎週、地元企業で職業実習をするデュアル実習を通して、地域と高校とのつながりを深めることができている。</p> <p>○「いびがわマラソン」や「クリーン大作戦」などに、多くの中高生がボランティアとして参加し、地域の方と共に活動した。</p>
	地域との連携	<p>○MSリーダーズや中学生の街頭啓発活動への参加が定着している。中学生は、高校生の姿から地域の方との関わり方を学んでいる。また、この活動を通して中高一貫教育についての地域の理解も広がっている。</p> <p>○地区によっては、公民館行事への参加やラジオ体操など地域の行事へ参加することができた。来年度以降も、地域の行事や活動への積極的な参加が求められている。</p>
	保護者・地域住民の啓発	<p>○町の広報誌「広報いびがわ」、ローカルテレビ番組「いびがわチャンネル」で地域住民への情報提供を進めている。</p> <p>○各学校の「通信」で、サマースクールや体験学習の様子を保護者に伝えることで、中高一貫教育についての理解を深めることができた。</p> <p>○揖斐高校のホームページなどでも行事を連絡するなど広く周知を図っている。</p> <p>○谷汲中の通信では、生徒の声を保護者や地域住民に伝えるだけでなく、保護者や地域住民の声を集め、生徒に届けるなど、双方向での情報発信ができる体制が進みつつある。</p> <p>▲保護者・地域住民への啓発として、中高連携行事に保護者や地域の方の参加を促していきたい。また、地域行事への小中学生だけではなく、高校生の参加をより推進していく。</p>



【体験学習(食物コース)】



【大会での発表】



【街頭啓発活動】